

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

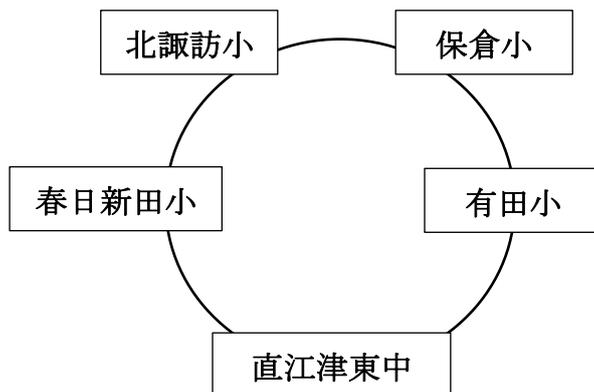
直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和7年度 第2号
令和7年6月25日発行
< 発行・編集 >
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL 025-543-2729
FAX 025-543-4150
E-mail: higashi-cs@jorne.or.jp

「すこやかネットワーク」とは？

直江津東中学校区には右図のように5つの学校があり、この5校がひとつになって「直東学園」がつくられています。

さらに、学園内5校の教職員が課題解決や学び合いに向けて、力を合わせるために作られた連携組織が「すこやかネットワーク」です。すこやかネットワークの組織と取組内容は下記のとおりです。



すこやかネットワークの組織と取組内容

すこやかネットワーク部長会 (直江津東中学校区校長会)

会長 直江津東中学校長 事務局 直江津東中学校教頭

生徒指導部	キャリア教育部	同和教育部	学力向上部
<p>部長 有田小校長 副部長 有田小教頭 推進員 各校1名 部員 各校養護教諭</p> <p><取組></p> <ul style="list-style-type: none">・「リーダーシップ・フォローシップ」の育成・切れ目のない生徒指導・定期的な情報共有と協働・いじめ見逃しゼロスクール集会の運営・けんこうの日 (養護教諭部会)	<p>部長 春新小校長 副部長 春新小教頭 推進員 各校1名</p> <p><取組></p> <ul style="list-style-type: none">・目標に迫るための実践を通じた単元開発・9年間を見据えた自校のキャリア教育カリキュラムの編成	<p>部長 保倉小校長 副部長 保倉小教頭 推進員 各校1名</p> <p><取組></p> <ul style="list-style-type: none">・直江津東中学校区同和教育基底計画に基づいた授業実践・人権教育、同和教育に関する研修会・保護者、地域と連携した人権教育、同和教育講話会	<p>部長 北諏訪小校長 副部長 北諏訪小教頭 推進員 各校1名</p> <p><取組></p> <ul style="list-style-type: none">・東中校区の学力分析・授業のUD化・学習のきまり10か条の徹底・授業力向上のための研修会や授業交流会・学習支援ボランティア・スタディ&メディアウィークの推進

【推進員】 各部各校1名…各部の主要構成メンバーとして部の取組の協議、具体的な取組の推進役を担う

キャリア教育部会の取組

キャリア教育を中核にした小中一貫教育の推進は直東学園の重点目標です。

直東学園5校ともに特色ある教育活動としてキャリア教育を大切にします。生活科・総合的な学習の時間を核に、教育活動全体を通して地域に根差した教育を推進します。

1 学校間連携の促進

・キャリア教育で育む資質・能力は次の5点。

- ① 人間関係形成力
- ② 自己理解・自己管理能力
- ③ 課題対応能力
- ④ キャリアプランニング能力
- ⑤ 郷土愛 (⇒新潟県として強調)

これらの力を発達段階に応じてさらに具体的な内容にし、共通の育てたい資質・能力として取組を進めています。

- ・各校の特色ある実践を集約・紹介し、学校間連携による単元づくりを進めます。
- ・4小学校の児童が交流し学び合う、「マスコミ学習」(5年)を行います。



2 郷土愛の育成を目指した活動の推進

- ・学園支援本部の協力を得ながら、郷土愛の育成を重点取組とした単元構成や授業を実践していきます。
- ・実践記録シートを基に、学校間で情報交換を進めます。

3 多面的な評価と改善

- ・キャリア教育の観点による教職員評価を実施し、よりよいカリキュラムや授業実践になるように改善を図ります。

4 キャリア・パスポートの活用と改善

- ・令和5年度末に、一部修正変更しました。活用しながら、今後も改善していきます。

5 アントレプレナーシップ教育の検討

- ・発達段階に応じた取組について情報交換を行い、今後の取組について検討します。

生徒指導部会の取組

多様性の時代。見方や考え方が異なる他者によりよい関係を築きながら、自分の個性を存分に発揮して生きていく力が求められています。

相手を尊重した人間関係づくり、人間関係調整能力等を学ぶとともに、共によりよく生活するための規範意識を高めるために、今年度も以下の3点に取り組みます。

1 リーダーシップ・フォロワーシップの育成

各学校の規模や実態に合わせ、集団の中でリーダー、フォロワーとしての役割を果たし解決する活動に取り組みます。小学校では縦割り班活動や集会活動、中学校では生徒会活動や学年活動の充実を図ります。

2 小中5校の一層の連携と切れ目のない指導

定期的に担当者が集まり、子どものことについて情報共有し、協力し合って指導します。また、「直江津東中学校区生活のきまり」の定着も図ります。

3 「いじめ見逃しゼロスクール集会」の充実

集会を通して一人一人が「いじめを絶対にしない、見逃さない」意識を高めることを目指します。今年度は、11月20日(木)に開催する予定です。集会には、小学校6年生と中学校1年生が参加します。



令和6年度

いじめ見逃しゼロスクール集会

学力向上部会の取組

小中学校 9年間を見通した一貫した学びを念頭に置き、学力的な課題や授業改善の方向性を共有し、確かな学力を育成します。

1 全員研修会・学校間授業研究交流会による授業力の向上

- (1) 学力向上全員研修会の実施
期日：夏季休業中
会場：検討中
- (2) 学校間授業研究交流会の実施
期日：6月13日(金)
会場：春日新田小学校

2 全国学力学習状況調査及びNRTの結果分析と課題の共有

各校の成果と課題を分析し、各校の学力向上取組を共有します。

3 家庭学習の充実

- (1) 「学年×10分」の徹底
- (2) 「家庭学習の手引き」などの活用
- (3) スタディ&メディアコントロールの実施

4 規律のある落ち着いた学習習慣づくり

「学習の約束」を基にして各校で学習に取り組む姿勢を育てます。

一人1台のタブレットの使い方の約束を常に見直していきます。



5 6年生児童の春休み課題の統一と中学校での課題確認

共通課題を中学校に提出し、新1年生の学習状況を知る上での参考とします。

同和教育部会の取組

同和教育部では昨年度末、より実態に即した各校での授業展開を目指し、中学校区基底計画を改定しました。本年度も、同和教育の実践を積み重ね、さらに充実した教育活動を展開します。

1 教職員の人権感覚を高め、授業実践に生かすための研修の実施

同和教育の授業力向上は、教師自身が差別の現実を知り、差別に憤り、人権感覚を研ぎ澄ますことから始まります。そこで各校で現地学習会や講演会、研修会を実施し、授業実践に生かしていきます。



【令和6年度 同和教育公開授業】

2 児童生徒が差別と向き合い、自分の生き方を見つめ直す講演会の開催

今年度も10月30日に4小学校の6年生全員を対象に、徳島県在住の大湾昇（おおわんのぼる）さんを講師にお招きした講演会を実施します。ユーモアを交えながら本気で語りかけてくださる大湾さんの講演は、子どもたちが自分の生き方を見つめなおす機会になります。



【令和6年度 講演会】

3 家庭、地域と連携した取組の推進

実践行動力に結び付く人権感覚を育むためには、学校と家庭・地域が、同一歩調で取り組むことが必要です。教職員、保護者、地域の皆様がともに学ぶ場を大切にし、地域全体で人権感覚を高めていきます。



【令和6年度
高橋なんぐさんによる人権講演会】

春のあいさつ運動ありがとうございました。

4月7日（月）～15日（火）に実施したあいさつ運動のアンケート結果です。
今年も多くの皆様からご協力いただきありがとうございます。

1 立哨中に会った大人の方とあいさつを交わしましたか。 () は昨年度のアンケート結果です。

ア 交わした	イ 交わしたり交わさなかったりした	ウ 交わさなかった	無回答
77% (79%)	23% (21%)	0% (0%)	0% (0%)

2 立哨中に児童生徒に自分のほうからあいさつをしましたか。

ア 自分から先にした	イ 自分からしたり相手が先にしたりした	ウ 相手が先にした	無回答
59% (61%)	36% (37%)	5% (2%)	0% (0%)

3 期間中家庭内であいさつをしましたか。

ア 自分から先にした	イ 自分からしたり相手が先にしたりした	ウ 相手が先にした	無回答
43% (42%)	49% (53%)	3% (5%)	5% (0%)

直東学園運営協議会

5つの学校の学校運営協議会のメンバーが一堂に会して、令和7年度の学園運営協議会が開催され、活動方針、計画、予算が承認されました。設立されてから今年で14年



目を迎えました。今後も地域をあげての応援よろしくお願ひします。

直江津東地域青少年育成会議総会

令和7年度の活動方針、計画、予算が承認されました。今年度も地域部会、保護者部会、すこやかネットワーク部会、幼児教育部会、学園支援本部の5部会構成で事業を進めていきます。一緒に活動しませんか。



地域独自の予算

令和7年度の地域独自の予算が3月の市議会で可決されたため、直東学園として要望していた事項はすべて承認されました。

事業名は「直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業」です。

総事業費は約595万円です。市からの補助経費は553万1千円で、残りの自主財源約59万円は、地域の各支援組織から分担をいただき事業を展開いたします。

- 1 小・中学校共通活動で約230万円
- 2 4小学校共通活動で約180万円
- 3 各小学校独自の活動で約170万円
- 4 中学校独自の活動で約6万円

の支出予定です。

各学校から提案のあった各種の活動を達成するために必要な経費を準備しました。

また、この事業を進めていくために直江津東中学校においてある直東学園事務局が、手続きや支払い及び事業報告の各種事務を取扱うことで、先生方が子ども達と向き合える時間を確保しています。

すでに、令和8年度の内容についても連絡があり、事業の継続団体であるため補助率は今年度と同様10分の9となります。